

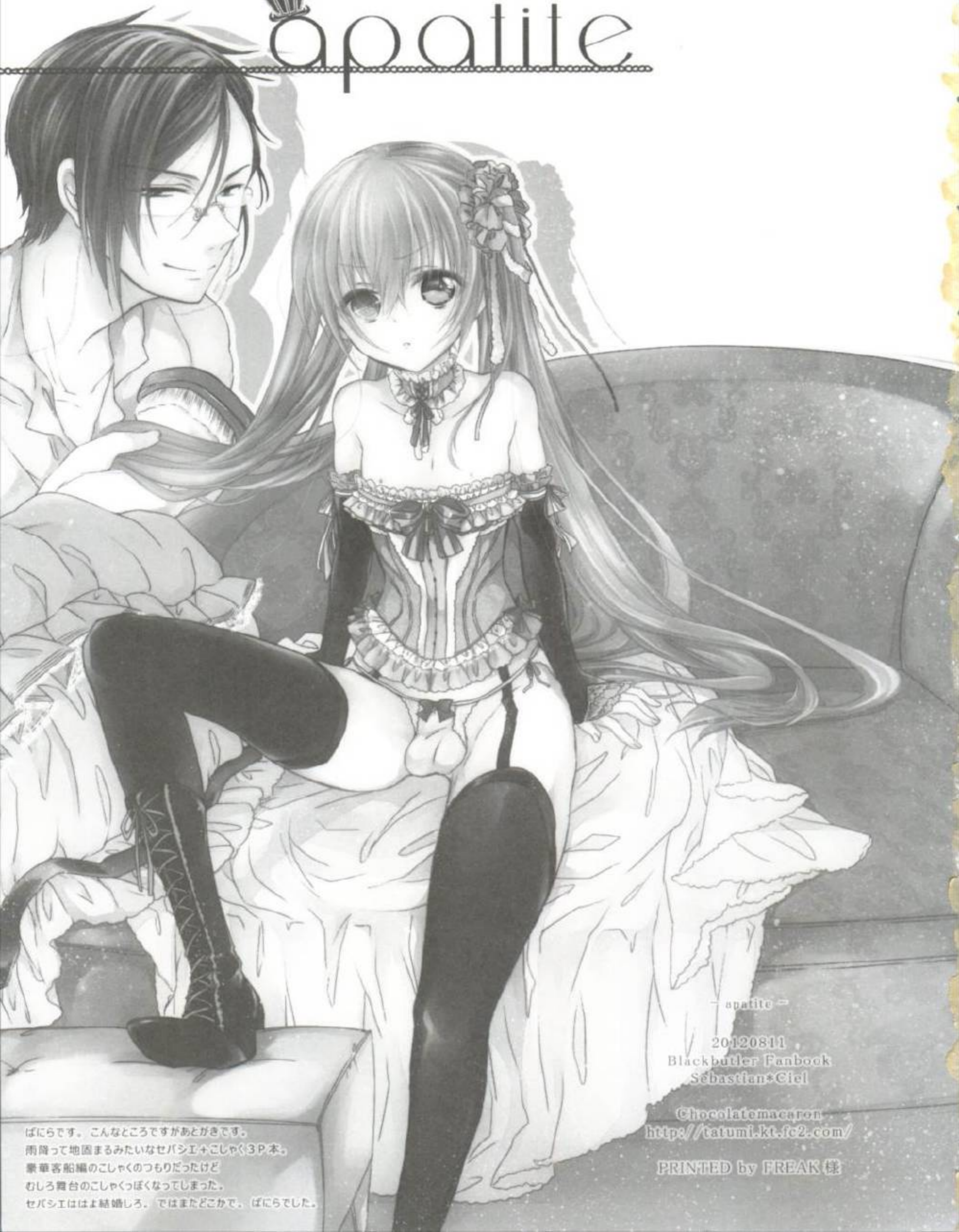


opposite

R18



# apatite



- apatite -

20120811  
Blackbutler Fanbook  
Sebastian+Ciel

Chocolatmacaron  
<http://tatumi.kt.fc2.com/>

PRINTED by FREAK 様

ばにらです。こんなどころですがあとがきです。  
雨降って地固まるみたいなセバシエ+こしゃく3P本。  
豪華客船編のこしゃくのつもりだったけど  
むしろ舞台のこしゃくっぽくなってしまった。  
セバシエははよ結婚しろ。ではまたどこかで。ばにらでした。

気に入らない

また違う女…  
何人目だ？

飲み物を取りに  
行くといって  
何分待たせる気だ

くまっくらして…ム

死者蘇生の  
研究集会と  
いうから  
来てみたが

これじゃただの  
健康オタクの  
茶会と変わらん

まったく

お嬢さん

ガッ  
ガッ





お見かけしない  
顔ですね  
初めてですか？

え、ええ  
まあ…

うや  
×マンド  
…

そうですねか  
楽しんでおられ  
ますかな？

はい



では私は  
これで…



しかしお一人で  
ないのでしたら  
良かった



失礼、  
私の連れが  
何か？

セバスチャ…

いえなに  
初めての方も  
楽しんで貰える様に  
話し相手でもと  
思いましたね



—よく戻って来れたな  
あんなに沢山のご婦人に  
囲まれていたくせに



それはもう

お嬢様が見知らぬ  
紳士に迫られて  
お困りの様でしたから





…御意



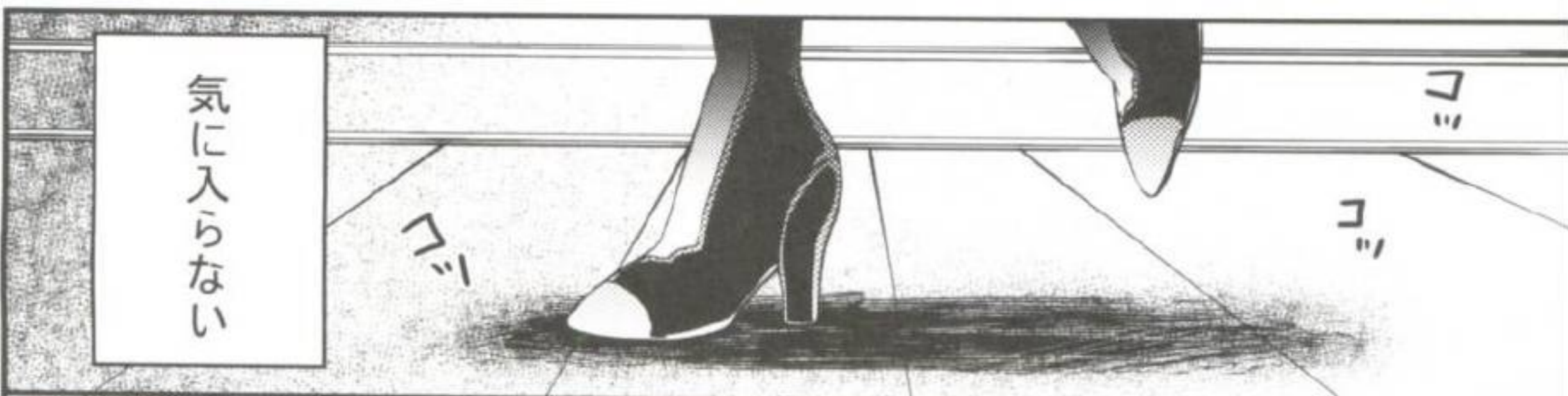
坊ちゃん？  
どちらへ…？



人に酔った  
少しい人になりたい



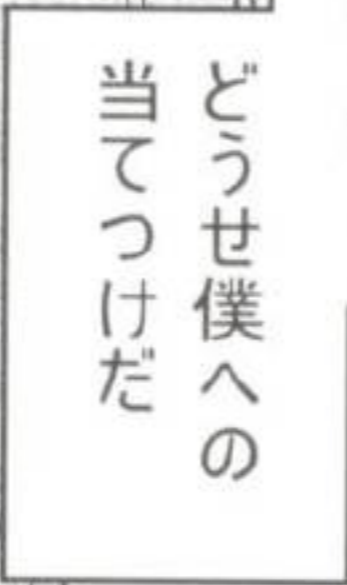
付いて  
くるなよ



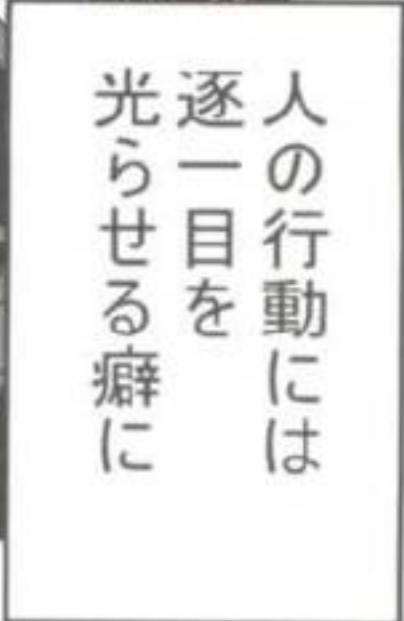
気に入らない



自分だつて  
女に困まれて



どうせ僕への  
当てつけだ



人の行動には  
逐一目を  
光らせる癖に



どうせ、  
こんな僕の反応を見て  
楽しんでいるだけ……

セバスチャン  
じゃない……

来るなって言った  
んだから  
くる訳ない、か……



気にかけるな

セバスチャンが  
誰と何を  
してようが

僕には、  
どうだって……



……何しているんだ  
僕は……

……こんな所で……

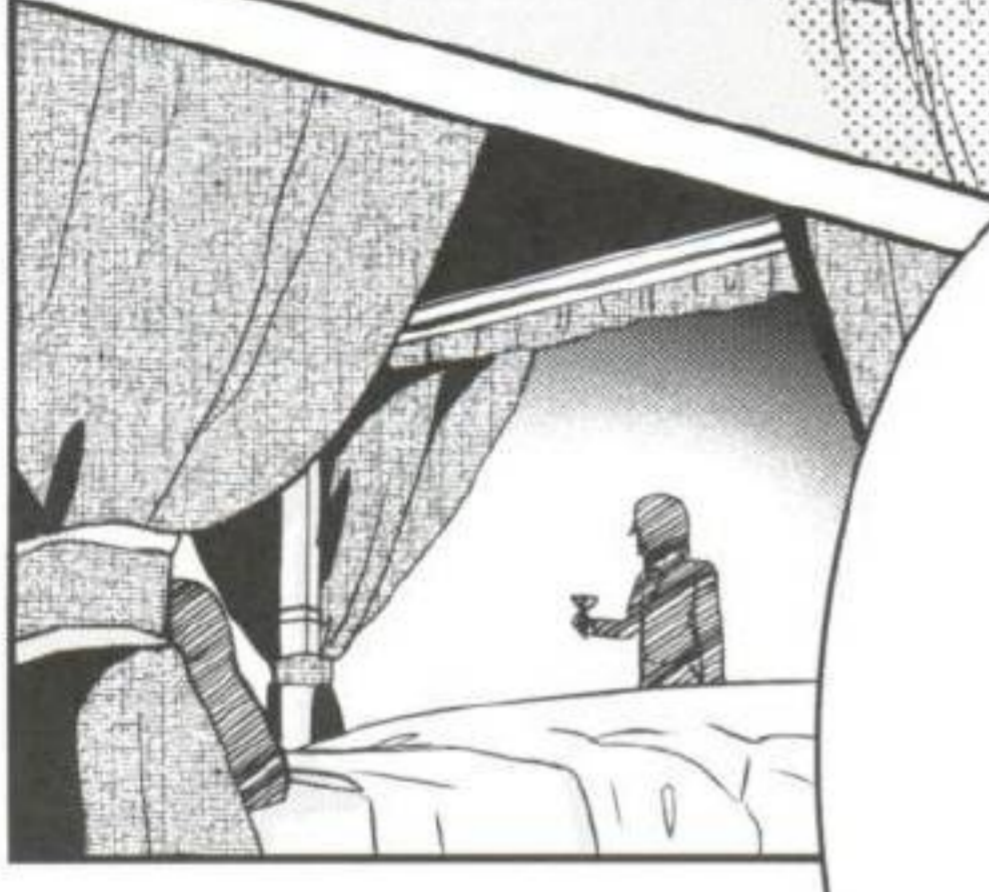
やあ、お一人かい？  
可愛らしいお嬢さん

え？





……まさか



こんな所で君と再会  
出来るとは思わなかったよ



久しぶりだね





駒鳥

びびる

くそっ

なんでコイツが  
こんな所に  
居るんだ…!

それにしても驚いたよ  
まさか君が男の子  
だったなんてね

ひくっ

小悪魔な仕草で男を  
翻弄する悪戯な君が

その美が  
よもや少年の肉体に  
宿っていうようとは!

めふ、

ぬ、

カッ

カッ

カッ

ギャッ

なんと  
いう  
悲劇!

そして  
なんと  
いう  
性への  
反逆!

ぶっ  
ちやけ  
嫌い  
じゃない!





だから  
女装なんて  
嫌だったんだ……!!

ハ



何だ、急に……  
力が……入らな……

おや



どうしたんだい？  
腰が震えているよ  
そろそろ限界かな？



意地をはらなくて  
いいんだよ  
ずっとその姿勢では  
疲れただろう？

腰を落として  
楽になるといい

ホラ

何だコレ…

なにか…  
ヘン…なに…

いやだ  
こんな奴に

触られたくない…

私が  
手伝ってあげよう



おや  
いったのかい？

ねっ

多少強めの薬だけど  
まさか後ろだけで  
イけるとは

……すく……

じゃあ……

素晴らしいね駒鳥

さて  
そんな君は

あ

一体どんな  
愛らしい囁りで  
私を楽しませて  
くれるのかな？

セバスチャンじゃないのに

こんなに気持ちいいのも

……そのせい？

セバスチャン

ヤ

クニ

ちゅ

びくびく

あ

あ

あ

あ

あ

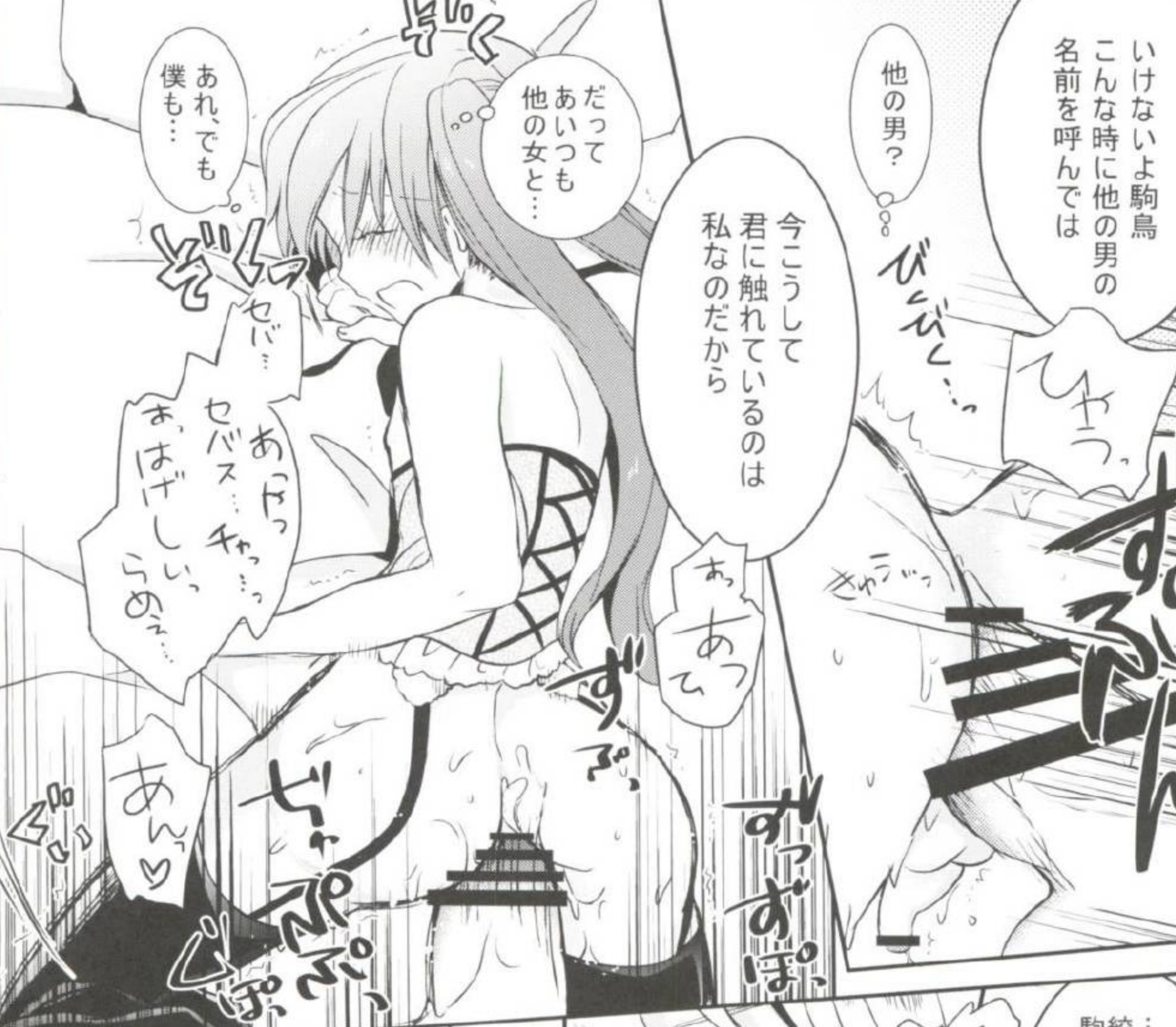
いけないよ駒鳥  
こんな時に他の男の  
名前を呼んでは

他の男？

今こうして  
君に触れているのは  
私なのだから

だって  
あいつも  
他の女と...

あれ、でも  
僕も...



：くっ  
絞めすぎだよ  
駒鳥

これでは  
すぐにもって  
行かれてしまいそうだ

大丈夫  
多めに薬を入れて  
おいたからね  
じきに  
痛みも快感に  
かわるだろう

僕も  
セバスチャン  
じゃない奴と  
こんな...



それにしても  
なんとという身体…  
癖になりそうだね

きゅう…

ほん

あ…

気持ちいい…

あ…あ…あ…

こんなの…

あ…セバスチアン…

ほん  
ほん  
ほん

未完成故の  
完成された名器…

駒鳥  
君はなんて  
素晴らしいんだ…!

あ…あ…  
あ…あ…

当然でしょう？

私自ら  
育てあげた  
のですから…

—セバスチャン…

は

アッ



お迎えに  
上がりましたよ

坊ちゃん

—…セバスチャ…?  
ほん、もの…?

ええ

まったく…  
呼ぶのが遅いですよ

それにしても本当に  
捕まるのが好きですね

好きで  
こうなってる  
訳じゃ…

なっ

なんだい君は！  
私の部屋に勝手に  
入らないでく…

あ

カッ  
ッ  
ッ

そうか…君か！

はい？

君がそうか！  
そうなのか…！！

Perthuis  
S. H. S.

君が駒鳥の様な  
奇跡の青薔薇を  
育てあげた  
ガーデナーだね！！

キウ キウ

はい？

ぎゅっ♡

少年の肉体に  
宿った少女の性…  
これほどまでとは！

リアンが聞いたら  
不健康だと発狂しそうだけど  
私は考えを改めさせられたよ！

いえ  
私はあくまで  
執事で…  
マニマニマ

かぐかぐ…

坊ちゃん？

はー



貴方坊ちゃんに何かしましたか？

？  
媚薬なら強めのを多めに…

ああ  
それで…

まったく  
余計な  
事を…



—つらい？  
坊ちゃん

今すぐ楽に  
してあげます  
からね

は…  
あ…  
ズィ  
ズィ



それに

他人に触られたままの  
記憶では後に  
響いても面倒ですしね…

女と貴方、  
まだ…  
あんなに…  
下…  
仕方がない  
こは君の意見も  
尊重しよう







私が二人居るとでも  
思えばいいのですよ

セバス  
チャンが…?



大丈夫ですよ



私の声だけを  
聞いて

私の匂いだけ  
感じて

私の事だけ  
見てー…





ほら  
分かりますか？  
坊ちゃん

後ろから突き上げ  
られるのと  
同時にー...

喉の奥まで  
いっぱい  
入って...

き...っ

チヤク

チヤク

ズン

チヤク

チヤク

ゴッ

頭の奥から  
足の先まで

まるで私に  
全身侵されてる  
みたいでしょう？

セバスチャンで  
いっぱいになって…

ね？ほら…  
もう怖くありませんよ

坊ちゃん

気持ちいい…っ

あーんあは  
あーんあ  
あーんあ



惚けるのは  
まだ早いですよ  
坊ちゃん

はっ

まだ...  
する...

もちろん

ほっ

のか...?

坊ちゃんの恐怖心が  
消えたところで

次は私の事を  
気持ちよくして  
下さいね

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ぞくぞく

あ

きもち...

あ

ほっ

あ  
あ

あ...  
あ...  
あ...  
あ...





私も

とても  
気持ちいいですよ

坊ちゃん...

ーじゃ、じゃあ...  
したい時は...

僕が、

してやっても...いい...

え？



駄犬が餓えていたら  
エサをやるのも主人の  
仕事だしな...

その代わり...



何だ  
不満なのか？

いえ...

「モウシロウも  
「またトシロウ...」

？

ふー

お前は尻尾振って  
ちゃんと僕の  
機嫌取りしてる

！  
きゃ ぽっ

フラフラよそ見  
したら  
イサ抜きだからな

はまっ

…分かったら

返事…

きゃ

ああ、  
そういう事か…





イエス  
マイロード

ご主人様の  
仰せのままにー…



- apatite -

20120811  
Blackbutler Fanbook  
Sebastian\*Ciel

Chocolatemacaron

